

第七十五回帝國議會
衆議院

所得稅法改正法律案外三十件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十五年二月十七日(土曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 堀切善兵衛君

理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君
理事木村 淺七君 理事高橋熊次郎君
理事小笠原三九郎君 理事立川 平君
理事河野 密君
長野 高一君 山本 条吉君

成島 勇君 池本甚四郎君
中島彌團次君 中村三之丞君
內藤 正剛君 長野 長廣君
愛野時一郎君 川崎 克君
津倉 龜作君 渡邊玉三郎君

櫻井兵五郎君 澤田 利吉君
伊藤 五郎君 石井德久次君
船田 中君 池田七郎兵衛君
上田 孝吉君 山川頼三郎君
豐田 收君 森 肇君

付託議案

所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法案(政府提出)(第八號)
特別法人稅法案(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法案(政府提出)(第一〇號)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)第一號
相續稅法中改正法律案(政府提出)(第二號)
建築稅法案(政府提出)(第三號)
礦區稅法案(政府提出)(第四號)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第五號)
營業稅法案(政府提出)(第六號)
地租法中改正法律案(政府提出)(第七號)
酒稅法案(政府提出)(第八號)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第九號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第一〇號)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第一一號)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
物品稅法案(政府提出)(第一三號)
遊興飲食稅法案(政府提出)(第一四號)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
通入稅法案(政府提出)(第一六號)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第一七號)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)(第一八號)
狩獵法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)(第二〇號)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)(第二一號)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)(第二二號)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)(第二三號)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)(第二四號)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)(第二五號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第二六號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第二七號)

森田 福市君 板谷 順助君
西川 貞一君 瀧澤 七郎君
小見山七十五郎君 鈴木 英雄君
田万 清臣君 松永 義雄君
佐竹 晴記君 石坂 繁君
道家齊一郎君 青木 作雄君
藤本 捨助君 北 勝太郎君
武田德三郎君

二月十六日委員田中好君辭任ニ付其ノ補闕
トシテ板谷順助君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 木村 正義君
大藏參事官 松田 正一君
大藏省主稅局長 大矢半次郎君
大藏書記官 田中 豐君
大藏書記官 山田 義見君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
所得稅法中改正法律案(政府提出)
法人稅法案(政府提出)
特別法人稅法案(政府提出)
配當利子特別稅法案(政府提出)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)
建築稅法案(政府提出)
鑛區稅法案(政府提出)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)
營業稅法案(政府提出)
地租法中改正法律案(政府提出)
酒稅法案(政府提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)
物品稅法案(政府提出)
遊興飲食稅法案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)
通行稅法案(政府提出)
入場稅法案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
狩獵法中改正法律案(政府提出)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)
○堀切委員長 ソレデハ昨日ニ引續キ開會致シマス——中村委員

○中村委員 昨日大藏大臣ヨリ財政計畫ノ見透シニ付キマシテ、大體大藏大臣ノ意圖セラレル所ハ略、明瞭ニナツタノデアリマシマスガ、コゴデ順序ト致シマシテ歳入ノ計畫ニ付テ御伺シテ置キタイノデアリマス、最近ニ於ケル自然増收ハ支那事變以來大體同様ノ傾向ニナツテ居ルノデアリマシマスガ、先ヅ數字ヲ御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○大矢政府委員 自然増收ト申シマスト豫算額ト決算額ノアレデゴザイマセウカ、ソレトモ毎年ノ決算ノ増加額ノコトデゴザイマセウカ——兩方ノ意味デ御答致シマス、昭和十二年度ハ豫算額ハ約十三億九千九百萬圓、決算額ハ約十五億二千五百萬圓デアリマシテ、約一億二千五百萬圓ノ増收ニナ

ツテ居リマス、十三年度ハ豫算額ハ約十九億五百萬圓デアリマシテ、決算額ガ約二十億七千五百萬圓、約一億七千萬圓ノ増收ニナツテ居リマス、ソレカラ豫算額ダケノ比較ヲ申上ゲマスルト、十二年度ハ約十三億九千九百萬圓、十三年度ハ約十九億五百萬圓、十四年度ハ約二十三億三千六百萬圓、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、尤モ此ノ間ニ毎年増稅ガアリマシタカラ、此ノ増加額ハ増稅ノ分ト、ソレカラ自然増收ノ分ト兩方包含サレテ居ル譯デアリマス

○中村委員 十五年度ノ租稅收入ハ三十二億圓ト記憶スルノデアリマス、而シテ、專賣收入ハ別ト致シマシテ、大體此ノ稅制改正ニ依ツテ、國庫ガ歳入トシテ計畫シ得ラレマス金額ハ、平年度ニ於テドレ位ニナツテ、サウシテ財政計畫ト睨ミ合セテ、今後三十五億乃至四十億程度ノ租稅收入ト云フモノヲ確保セナケレバ、昨日大藏大臣ノ言ハレマシタ財政計畫ニ照應スルコトガ出來ナイノデハナイカ、此ノ點ニ於テ歳入ノ計畫ヲ掌ル主稅局ハドウ云フ見透シヲ持ツテ居ラレカ、之ヲ御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○大矢政府委員 仰セノ通り支那事變モ長期建設ノ段階ニ入ツタノデアリマス、將來ノ見透シト致シマシテハ、中々歳出ノ著シキ減少ト云フコトハ豫想セラレナイノデアリマス、一般會計ニ於キマシテモ、毎年相當額ノ歳入不足ノ補填公債ヲ發行シテ居ル狀況デアリマシタカラ、產業界、經濟界及ビ國民ノ負擔其ノモノガ許サレラナラバ、出來ルダケ租稅收入ノ多キヲ圖リタイノデアリマスガ、併シナガラ一面ニ於テ事變下デモアルシ、又生産力擴充ヲ必要トスル此

ノ際デモアリマシタカラ、一般會計ニ於テモ總テ租稅收入デ賄ツテ行クト云フ譯ニモ參ラナイシ又絕對ニ其ノ必要ガアルトモ申サレナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ國庫ノ増收ヲ租稅ニ於テ圖ルト云フ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ歳入歳出ノ狀況ヲ考ヘルノハ勿論デアリマシタケレドモ、一面ニ於テ租稅ノ產業界、國民生活等ニ及ボス影響モ篤ト考慮シナケレバナラヌト考ヘマス、又昨日櫻井君カラノ御尋ノ中ニアリマシタ通り、將來ハ又下シナ不測ノ事件ガ起ラヌトモ限リマセヌカラ、租稅ノ上ニ於テモ亦其ノ最高限度マデ此ノ際徵收スルト云フノモ如何カト存ゼラレマスノデ、先ヅ此ノ際トシテハ此ノ程度ヲ以テ適當ト考ヘタ次第デゴザイマス

○中村委員 御説明ハ分リマシタガ、端的ニ言フノハ、是モ無理カモ知レマセヌガ、大體今後ハ昨日大藏大臣ノ言ハレマシタ財政計畫ニ照應スル爲ニハ、租稅收入ハ三十五億乃至四十億ヲ目標トシテ進ンデ行クト云フノデハナイカ、斯ウ云フノデス、ソレヲ端的ニ御答願ヘバ宜イノデス、見透シダケデ宜イノデス

○大矢政府委員 私共主稅局ニ居ル者ノ希望トシテハ、正ニ仰セノ通りデアリマシケレドモ、サレバト云ツテ、端的ニ租稅ハ四十億ナケレバナラヌ、之ヲ又目標ニシナケレバナラヌト、一概ニモ申上ゲ兼ねル所ガアルノデハナイカト存ジマス

○中村委員 ゴゴデ次ニ御伺シテ置キタイノハ、昨日國民所得二百五十億ト云フ御推定ヲ發表セラレタノデスガ、一體國民所得ニ對シテ租稅ガ何「パーセント」ニナルノデスカ、最近ノ傾向ヲ一ツ參考ノ爲ニ御聽

ノ際デモアリマシタカラ、一般會計ニ於テモ總テ租稅收入デ賄ツテ行クト云フ譯ニモ參ラナイシ又絕對ニ其ノ必要ガアルトモ申サレナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ國庫ノ増收ヲ租稅ニ於テ圖ルト云フ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ歳入歳出ノ狀況ヲ考ヘルノハ勿論デアリマシタケレドモ、一面ニ於テ租稅ノ產業界、國民生活等ニ及ボス影響モ篤ト考慮シナケレバナラヌト考ヘマス、又昨日櫻井君カラノ御尋ノ中ニアリマシタ通り、將來ハ又下シナ不測ノ事件ガ起ラヌトモ限リマセヌカラ、租稅ノ上ニ於テモ亦其ノ最高限度マデ此ノ際徵收スルト云フノモ如何カト存ゼラレマスノデ、先ヅ此ノ際トシテハ此ノ程度ヲ以テ適當ト考ヘタ次第デゴザイマス

致シタイト思ヒマス

○大矢政府委員 改正前即チ現行法ノ下ニ於キマスルト、大體一五%カト存ジマス、改正後、即チ本改正案ガ成立シテ平年度ニ於キマシテハ一七%餘ニナルカト存ジマス

○中村委員 是ハ御答辯モ難シイカモ知レマセスガ、國富ヲドレ位ニ推定セラレテ、此ノ増稅案ノ基準トセラレタノデアリマセウカ

○大矢政府委員 此ノ増稅案ヲ作ル場合ニ於キマシテ、國富其ノモノヲ基礎ニ致シタ譯デハアリマセス

○中村委員 政府ノ示サレタ改正ノ目標ハ四ツアル、私ハ之ヲ四大原則ト名付ケルノデスガ、從來喧シク言ハレテ居リマシタ都市ノ農村ノ負擔ノ不均衡ト云フモノハ、此ノ稅制案ニ依ツテ相當是正セラレテ居ルダラウト思フ、例ヘバ帝國農會アタリノ數字ト、大藏省主稅局ノ見ラレル數字トハ多少違フダラウト私ハ思ヒマスガ、併シ此ノ地域的負擔ノ不均衡ニ付テ、ドウ云フ考慮ラセラレタノデアルカ、此ノ稅制改革案ノ中ニドウ云フ點ニ盛ラレテ居ルノデアルカ、一應承ツテ置キタイ

○大矢政府委員 從來都市ト農村ト負擔ガ著シク不均衡デアルト云フコトハ、屢、論議セラレタノデアリマスガ、最近ニ至リマシテ農產物ノ價格モ相當上昇シテ參リマシタ結果ト致シマシテ、一時農村疲弊ノ聲ガ囂シカッタ昭和六七年頃ニ比ベマシテ、餘程此ノ點ハ改善サレテ來テ居ルト思フノデアリマス、ソレカラ昭和十二年度以來臨時地方財政補給金ヲ相當多額國庫ヨリ支出致シマシテ、地方負擔ノ輕減ニ充テテ居リマスノデ、最近ノ狀況カラ申シマスルト、大體

都市ト農村ト左程著シク負擔ノ不均衡ハナクナツテ居ルト考ヘマス、併シナガラ是ハヤハリ最近ノ農產物價格ノ上昇ト云フヤウナ點ガ非常ニ働イテ居リマスノデ、此ノ狀況ガ將來變ラナケレバ宜シウゴザイマスケレドモ、又將來農產物ノ價格ガ下落スルト云フヤウナコトガアリマスルト、地租ノ負擔トカ、或ハ戶數割ノ負擔等、又稅制上ニ於テ著シク農村方面ニ於テハ都市ニ比ベテ負擔ガ重クナルト云フコトガ、起ツテ來ル可能性ガ十分アルノデアリマス、隨ヒマシテ、此ノ度中央地方ヲ通ズル稅制ノ一般的改正ヲ爲スニ當リマシテハ、此ノ點モ十分考慮致シマシテ、單ニ目先ノミニ限ラズ、將來ニ互リマシテ、都市ト農村ト負擔ノ不均衡ガ起ラナイヤウニ十分考慮ヲ致シタ積リデアリマス、隨テ地租ノ如キ相當從來ノ負擔ヨリモ輕クナツテ居ルト思ヒマス、又戶數割其ノモノモ全廢致シマシテ、從來地方負擔ノ最モ不均衡トシテ非難セラレテ居リマシタ點ヲ除去致シマシテ、是等ニ依ツテ地方團體ノ主要財源ハ國デ賦課徵收スル所得稅、法人稅ヲ主體トスル分與稅ニ依ツテ補填致シマシテ、將來農產物價格ノ下落ト云フヤウナコトガ起ツテモ、農村方面ノ負擔ノ過重ガ起ルト云フコトヲ防止スル方法ヲ十分考ヘタ次第ゴザイマス

○堀切委員長 中村君一寸御待チテ願ヒマス、此ノ前ノ御質問ニ對スル御答辯デスガ、國民所得ニ對シテ改正前ハ一五%、改正後ハ一七%ニナルト云フ御答辯、是ハ地方稅ハ無論入ラナイノデセウカ

○大矢政府委員 國稅地方稅兩方合計致シマシタ割合デゴザイマス

○堀切委員長 サウシマスト國民所得ト云フノハ、昨日二百億乃至二百五十六億位ト云フ御答辯ダツタノデ、五十六億其ノ中ニナニガアルノデスカ、モウ少シハツキリシタ所ハ分ラヌモノデスカ、ソレカラ同時ニ第三種所得稅ヨリ逆算シテ行ツテ所得ヲ決メタト云フ御話デシタガ、サウスレバ昨日ノ櫻井君ノ質問ノアツタヤウニ、苛斂誅求ヲヤツテ餘計稅ヲ取レバ取ル程、國富ハ自然殖エテ行クヤウニナルノデ、マルデ是ハ逆デナイカ、國富ガ殖エタ、隨テ稅ガ餘計ニナルノナラバ宜イガ、稅ヲ餘計取ツテ居ツテ、ソレダケ國富ガ殖エタト云フコトハ、國民ノ方ガ耐ラヌヤウナ氣ガスルノデス、ソレデモウ少シハツキリ國民所得ト云フ點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御答申上ゲマス、內閣統計局ニ於キマシテ、大正十四年カト存ジマスガ、國民所得ヲ調查致シマシテ發表致シテ居リマス、ソレカラ昭和五年ニ又國民所得ヲ調查ヲ致シマシテ、其ノ結果ヲ發表致シテ居リマシテ、サウシテ大正十四年ヨリ昭和五年マデノ間ノ開キハソコデ出テ來ルノデアリマスガ、其ノ間ニ毎年ノ國民所得ノ變遷ヲドウシテ見タカト云ヒマスルト、外ニ的確ナ據ルベキ資料ガアリマセヌノ變遷ノ狀況ヲ見マシテ、ソレヲ基礎ニシテ各年ノ國民所得ヲ推算シテ居ルノデアリマス、內閣統計局ニ於テモ、從來大體此ノ第三種所得稅ノ課稅對象ナル所得ノ變遷ニ依ツテ國民所得ノ推移ヲ見ル、斯ウ云フコトヲ致シテ、今ノ所是ガ一番據ルベキ確實ナル材料トセラレテ居ルノデアリマシテ、昭和五年以後ノ國民所得ニ付キマシテハ、

內閣統計局ノ方デ發表ガゴザイマセヌ、ソレデ私共色々ノ調査ヲスル資料ト致シマシテ、ヤハリ毎年第三種所得ノ變化ノ狀況ヲ基礎ニシテ、サウシテ昭和五年ノ國民所得ニ對シマシテ其ノ後ノ毎年ノ國民所得ノ推移ヲ見テ居ル次第デアリマス、左様ニ致シマスルト、昭和五年ノ國民所得ニ對シマシテ、昭和十五年ノ國民所得ハ大體二百五十億カラ二百五十五億程度ニナル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、勿論御尋ノ中ニアリマシタヤウニ、苛斂誅求致シマシテ、第三種所得ノ課稅對象タル所得ガ不當ニ増加スルヤウナコトガアレバ、之ニ基礎ヲ置イテ國民所得ヲ算出スレバ、國民所得ガ非常ニ高クナルト云フコトハアルノデアリマス、若シモ左様ナコトガアリマスルナラバ、其ノ推定モ當ニナラスト云フコトニナリマスルガ、私共ト致シマシテハ、各年ニ依ツテ課稅斂ノ程度ガ違フトカ、或ハ年々課稅ノ程度ヲ強クシテ行カウト云フヤウナ考ヘ、ナイノデアリマス、最近數年間增稅ニ增稅ガ相次イデ、國民負擔ガ相當重クナツテ居ルニ拘ラズ、此ノ事變ニナツテ以來納稅成績モ非常ニ向上シテ居リマス、異議申立ノ數モ減ツテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ一國民ガ時局ヲ認識シテ、國家ノ財政ニ協力シヨウト云フ精神ノ現ハレダトハ思ヒマスガ、私共時局下ニ於キマシテ苟モ苛斂誅求ハナイヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、一言附加ヘテ置キマス、尙ホ十五年度ニ於キマスル國民所得ハ二百五十五億ト見マシテ、此ノ國稅地方稅ノ合計ガ三十八億、サウシテ其ノ「パーセンテージ」ハ百分ノ十五トナリマシテ、是ガ改正サレマスルト國稅地方稅ノ合計ガ四十五億ト云フ風ニ

ニナリマシテ、約一七〇程度ニナリマス
○堀切委員長 此ノ稅ノ中ニハ煙草專賣益金ハ入リマスカ
○大矢政府委員 專賣益金ヲ包含シテ居リマス

○堀切委員長 ソレカラ斯ウ云フ大事ナ際ニ、内閣統計局デドウシテ昭和五年ダケノ統計デ打切ツテ置クノカ、斯ウ云フ際ニコソ年々ノ統計ヲ出シテ戴カクチャナラヌト思ヒマスガ、統計局長モ政府委員ニナツテ居リマスカラ、此ノ次ノ委員會ニ出テ説明ヲシテ戴

○木村政府委員 今ノ問題ハ國民所得ヲ出スト云フコトハ、當局ノ聞イテ居ル所デハ、是ハ秘密事項デ、ドウシテモ外へ出サレナイト云フコトヲ從來聞イテ居ル譯デアリマスカラ、今御話ニナツタ點ハ統計局ト打合せテ又御答スルコトニ致シマス

○堀切委員長 兎ニ角統計局ノ政府委員ニ來テ貰ツテ、秘密會デ聽イテモ宜シウゴザイマス、更ニ伺ヒタイノハ此ノ内閣統計局ノ統計ニ依ルト、今ノ國民所得ヲ基礎ニシテ國富ヲ推算シテ居ルノデナクテ、生産額ヲ基礎トシテ國民所得ヲ割出シテ居ルヤウデス、例へバ國富ハ土地ガ幾ラ、鑛山ガ幾ラ、家畜ガ幾ラ、農産物ハ幾ラ、工業品ハ幾ラ、斯ウ云フ風ナ種類別ニ依ツテ國富及ビ所得ヲ割出シテ居ルヤウデス、稅ヲ基礎ニシテ統計局デハ割出シテ居ルノデハナク、全ク計算ノ立テ方ガ違フヤウニ考ヘマス、生産額ヲ基礎トシテ方ガ寧ロ據リ所ガアルヤウニ思ヒマスガ、如何ナモノデセウカ

○大矢政府委員 是ハ私モ國富ノ統計、國民所得ノ統計ノコトヲ詳シク承知シテ居リ

マセスカラ、或ハ多少申上ゲルコトガ正確ヲ缺ク點ガアルカモ分リマセヌガ、一應私ノ了解シテ居ル所ヲ申上ゲマス、國富ニ付キマシテハ土地ナラ土地、建物ナラ建物、是ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトニ付テハ、是ハ實際ヲ調べテ統計シテ居ルト存ジマス、ソレカラ國民所得ノ計算ニ當リマシテハ、實際上ハ其ノ生産統計ニ依ルカ、或ハ債權債務ノ關係カラ發生スル所得ノモノマデモ見ルベキカト云フ點ガアリマシテ、是ハ餘程其ノ結果ニ於テ數字上大キナ違ヒガ出テ來ルカト存ジマスガ、大體生産方面ヲ見テ統計シテ居ラレルノデハナカテウカト思ヒマス、ソゴデ大正十四年及ビ昭和五年ニ於ケル國民所得ノ統計ヲ實際各種ノ資料ヲ出來ルダケ多ク蒐集シテ、ソレニ依ツテ國民所得ヲ計算シタ、斯ウ云フ譯デアリマス、併シ其ノ間ノ毎年ノ國民所得ノ計算ト云フノハ、是ハ實際資料ニ付テ得ノ計算ト云フノハ、是ハ實際資料ニ依

計算シテ居リマセヌカラ、ソレデハ毎年ノ國民所得ハドウシテ計算スルカト云フ段ニナリマス、他ニ有力ナル參考資料ガアリマセヌノデ、大體第三種ノ所得ノ變遷ニ依ツテ計算スルノガ最モ適當ダラウト云フノデ、第三種所得ノ増減歩合ニ依ツテ、此ノ實際調べタ間ニ挾マレタ期間ノ毎年ノ國民所得ヲ計算シテ居ル、斯ウ云フヤウニ承知シテ居リマス

○堀切委員長 例へバ斯ウ云フ風ナノハドウシマス、會社ノ重役ガ三萬圓報酬ヲ貰ツタ、其ノ中運轉手ニ月百圓ヅツ呉レテ居タ、ソレハ兩方所得ニナリマスネ、運轉手ノ一年千二百圓モ三萬圓モ兩方所得ニ計算ナレマセヌカ、第三種所得ヨリ計算スルト「ダブル」ヤウニナリマスガ

○大矢政府委員 第三種所得ノ方ニ於テハ正ニサウ云フヤウニナツテ居リマス、ソレカラ債權債務ノ關係ニ於キマシテモ、昨日以來此ノ委員會ノ席上ニモ色々御話ガアリマシタガ、一方ニ於テ個人ガ債權ヲ持ツテ居テ、サウシテ利子ガ入ツテ來ル場合ニハ、總テ是ハ第三種所得ノ計算上所得ニ見ルノデアリマスガ、支拂ツタ方ハ別ニ所得カラ全額ヲ引クト云フコトハシテ居リマセヌ、必要ノ經費ヲ所得カラ引クト云フコトニナツテ居リマシテ、サウ云フ點ニ於テハドウシテモ食違ヒガ起ツテ來ルノデアリマス、隨ヒマシテ第三種所得其ノモノヲ基礎ニシテ、ソレダケデ數字ヲ彈キ出スト云フト、ソコニ大キナ狂ヒガ出テ來ルト思ヒマスガ、唯毎年國民所得ノ大體變化ノ趨勢ハドウデアアルカト云フ傾向ヲ見ル場合ニハ、第三種所得ハヤハリ毎年同ジヤウナ調子ニシテ調ベテ居リマスカラ、先ヅ之ニ依ルノガ客觀的ニ大體適當ナモノニナルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ見方ヲシテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス

○堀切委員長 公債ナド非常ニ殖エテ來ルト、公債ノ利子ヲ受取ツタ者ハ所得ニナル、國家ノ見地カラ見レバ公債ガ殖エテ國富ガソレダケ殖エタト云フコトニハ參ラヌ、殊ニ不生産的國債ナドドン／＼殖エレバ殖エル程國富ハ減ルコトニナル、個人ノ所得カラ云フトドン／＼殖エテ來ル、サウ云フ點ニ於テモ是非非常ニ矛盾ガ生ジテ來ルヤウニ思フ、ドウモ所得ノ計算ガ十分ニ正確ヲ得テ居ナイヤウニ考ヘラレマス

○大矢政府委員 今ノ御話デアリマスガ、第三種所得ヲ基礎ニシテ、毎年ノ成績ヲ見ルト云フコトニシテ居ルノデアリシテ、今

御話ノ國債ノ利子ハ、現在ハ第三種所得ニ課稅シテ居リマセヌ、第二種所得ニナツテ居リマスカラ、是ハ計算外ニ置カレテ居ル譯デアリマス、ソレカラ國民所得ニ對スル租稅負擔ノ割合ヲ見テ、國民ノ現實ニ稅ヲ負擔シテ居ルノハドウ程度デアルカ、尙ホマダ擔稅餘力アリヤ否ヤト云フコトヲ見ルノハ、是ハヤハリ一ツノ有力ナル材料デアリマスケレドモ、併シ必ズシモ是ガ一番信憑シ得ルモノト云フ風ニハ、實ハ私共考ヘテ居ナイノデアリマス、國民所得ノ計算其ノモノハ、中々難カシイ、正確ヲ期シ難イノト、計算方法ハ國ニ依ツテソレ／＼違ツテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ各國ノ國民所得ヲ是レ／＼ト云フ數字ガ出テ居ルノヲ其ノ儘持ツテ來テ、間違ヒナイモノトシテ比較ヲ取ル其ノ事自體ニ、一ツノ間違ヒガ起ツテ來ルノデアリマス、ソレカラ又此ノ國民所得ニ對スル租稅負擔ノ割合ヲ見テモ、是ハドウシテモ其ノ國ノ産業ガ發展ノ途上ニアルカ、或ハ又段々衰退シテ行クカニ依ツテ、國民ノ負擔力ト云フモノハ非常ニ違フモノデアリマスカラ、此ノ點モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ富ノ分布ノ程度ガ違フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ國民所得ニ對スル租稅ノ負擔ノ割合ダケヲ見テハ、茲ニ又大キナ間違ヒガ起ツテ來ルノデアリマシテ、亞米利加ノヤウナ國ト、日本ノヤウナ國ト、或ハ又支那ノヤウナ國トヲ同率デ、國民所得ニ對スル租稅負擔ノ割合ヲ見テ、直グニ其ノ租稅負擔ノ餘力ガマダアルカ否カラ見ル譯ニ參ラヌカト存ジマス、又戰時ト平時ニ於キマシテモ、自ラソコニ考ガ變ツテ來ナケレバナラヌ點ガアルト思フノデアリマス、私共此ノ増稅

案ト比較スルヤウナ場合ニ、是等ノ點モ勿論一ツノ有力ナ參考トシテハ見マスケレドモ、餘リニ之ニ重キヲ置キ過ギルト云フコトハ、トシテ聞違ヒヲ起スノデアリマシテ、結局増稅額ヲ定メル場合ニハ、國庫ノ狀況、經濟界ノ狀況、現在ノ國民負擔ノ狀況、而シテ、程度マデ此ノ負擔ヲ重クシテモ、產業界方面ニサウ著シイ打撃ヲ與ヘナイデ

濟マシ得ルカ、又國民生活ヲサウ著シク脅威シナイデ行ケルカドウカ、斯ウ云フ點モ能ク考ヘテ案ヲ定メヨウ、斯ウ云フ積リデ居リマス、租稅負擔ガ比較的輕イカラト云ツテ一概ニソレヲ一氣ニ二倍三倍ニスルト云フコトモ實際上出來ナイ、舊稅ハ良稅ナリト言ハレテ居ルノモ、長ク施行シテ居レバ相當重イ負擔ニ國民ガ堪ヘテ行ク、然ルニ從來儲カツタカラト云ツテ、一足飛ビニ世間並ニ重イ負擔ヲサセヨウトスルト、丁度俄ニ輕ク出サシテ、先方ニ行ツテ居ル者ニ追付カセヨウト云フヤウナコトガ起ツテ來ル、其ノ過渡期ニ於テ無理ガ生ズルト云フコトモアルノデアリマスカラ、是等ノ點モ考慮シマシテ、各種ノ方面カラ見テ妥當ナル所ニ落著カセタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○堀切委員長 其ノ程度ニ致シマシテ、中村君

○中村委員 ソレデハ此ノ稅制改正ニ依ツテ、大體都會ト農村ニ關スル從來論ゼラレタ負擔ノ均衡ト云フモノガ、一應目的ニ近イ所マデ達シテ居ル、斯ウ云フ結論ノヤウニ、主稅局長ノ御答辯デ私ハ思フノデアリマスガ、左様デアル、尙ホ出來レバ、例ヘバ都會ノ營業者、ソレカラ地方ノ營業者、地主階級、斯ウ云フヤウナモノノ負擔ノ趨

勢ニ付テ、資料ヲ提供セラレシコトヲ要求致シマス、其ノ點ニ付テ主稅局長ヨリ御答辯ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 大體ニ於テ此ノ度ノ改正ニ依リマシテ、都市ト農村ノ負擔ノ均衡ハ得ラレ、將來モ此ノ稅制改正案ニ依リマスレバ、再ビ數年前ノヤウナ都市ト農村ノ負擔ノ不均衡ヲ云々セラレルト云フコトハナクナルカト存ジテ居リマス、只今御要求ニナリマシタ資料ハ、取急ギ作成致シマシテ提出致シタイと思ヒマス

○中村委員 次ニ四大原則ノ中ノ經濟政策トノ調和デアリマスガ、是ハ臨時措置ニ出デラレテ居ルト思ヒマスガ、此ノ稅制改正ノ要綱ニ、其ノ大體ガ載ツテ居ルヤウデアリマス、主トシテ吾々ガ重點ヲ置イテ考ヘナケレバナラス點ハ、所謂時局產業ノ減價償却問題デアルト思フノデアリマスガ、是ハ法律ニ出デズシテ、固ヨリ標準ハアリマスケレドモ、稅務行政上ノ行政官ノ手心ニセラレルト云フノデアリマスガ、此ノ點ヲ御伺フシタイ

○大矢政府委員 經濟諸政策トノ調和ノ點デゴザイマスガ、是ハ實ハ今御話ノアリマシタ臨時稅稅措置デハ勿論相當考究シテ居リマスガ、ソレヨリモ先ヅ全體ト致シマシテ、今回ノ改正ニ當リマシテ、増稅額ヲ

ドノ程度ニ決定シヨウカト云フノモ、ヤハリ我國ノ產業界ニ著シキ打撃ヲ與ヘナイヤウニ、今後モ十分發展シテ行ク可能性ノアルヤウニシタイト云フコトヲ、根柢ニ置イテ居ルノデアリマシテ、是ガ經濟諸政策トノ調和ノ、最モ基礎的ノ考ノアル所ダト存ジテ居リマス、其ノ外屢々問題ニナリマス所ノ、直接稅及ビ間接稅ノ按配ヲドウスルカ、或

ハ又事業ニ對スル課稅ヲドウ云フ風ニスルカ、或ハ配當利子所得ニ對スル課稅ヲドウ云フ風ニスルカ、臨時所得稅ノ改正ヲ、從來ノモノニ對シテ如何ナル點ニ付テ致スベキカト云フヤウナ場合ニ、常ニ經濟諸政策トノ調和ニ十分注意シテ積リデアリマス、殊ニ生産力擴充ヲ必要トスル今日デアリマスカラ、此ノ點ニハ十分ニ考慮致シマシタ、時局產業デ新シク事業ヲ始メルト云フヤウナモノニ付テ、其ノ重要ト思ハレルモノニ付キマシテハ、開業ノ年及ビ翌年カラ

所得稅トカ法人稅ヲ免除スルト云フコトモ致シテ居リマス、又其ノ中デモ特ニ必要ノ事業デアツテ、而モ三年程度ニ於テハ十分ニ利益ヲ擧ゲ得ナイト云フモノニ付キマシテハ、五年トカ、或ハ十年トカノ免稅期間モ置クト云フヤウナコトモシテ居ル次第デアリマス

減價償却ノ點ニ付デアリマスガ、是ハ減價償却其ノモノノ性質上、現實ニ其ノ物件ガ減價シテ行ク場合ニハ、ソレニ應ジテ償却スルコトハ當然デアアルノデアリマシテ、之ヲ法律デ明定スルト云フ譯ニハ參ラスカト存ジマス、稅務ノ扱ト致シマシテモ、大體ノ標準の内規ヲ設ケマシテ、之ニ依ツテ施行シテ居ルノデアリマスケレドモ、特殊ノモノニ付キマシテ此ノ標準ニ依リ難キ場合ニハ、ヤハリ例外ヲ認メマシテ、實際ニ即シテ扱ヲヤツテ居ル次第デアリマス、昨年特別ニ法律デ減價償却ニ關スル規定ヲ臨時措置法ニ設ケマシタ、是ハ實ハ嚴格ニ言ツテ減價償却デハナイノデアリマシテ、取得價格ノ三分ノ一ヲ限度トシテ、其ノ範圍内デハ三年間ニ全部之ヲ償却シ得ルト云フ規定デアリマシテ、經濟上

カラ云ツテノ減價償却トハ性質ガ違フモノデアリマス、併シ會社ニ於テ今申上ゲタ範圍内ニ於テ減價償却トシテ出シテ來タ場合ニハ、課稅上之ヲ普通ノ減價償却ト同視シテ扱ハ、斯ウ云フ趣旨ヲ以チマシテ特ニ法律ニ規定シタ次第デアリマス、ソレカラ大體數年前マデ稅務ノ内規ト致シマシテ置キマシタ減價償却ノ歩合表ナルモノハ、大正七八年ノ頃ニ定メタモノデ、爾後餘リ之ヲ變ヘテ居ナカツタノデアリマスガ、最近ノ實情ニ即シナイ點ガアリマスノデ、昭和十二年度臨時稅稅增徴法施行ノ際ニ、相當範圍ノ改正ヲ致シタ譯デアリマス、ソレカラ其ノ後昭和十三年度支那事變特別稅法ノ制定ノ際ニ當リマシテモ、時局產業方面ニ於テ設備スル物件ニ付キマシテハ、尙ホ特別ニ償却年限ヲ短縮シタ譯デアリマシテ、昭和十四年ニ於キマシテハ、更ニ前ニ申上ゲタ臨時措置法ニ於キマシテ法律ヲ以テ特別ノコトヲ致シタ、斯ウ云フ次第デアリマシテ、出來ルダケ實情ニ副フヤウニ致シテ居リマスガ、今回モ相當大規模ノ增稅デゴザイマスルノデ、更ニ振返ツテ見テ全般

的ニ再檢討シテ、是ガ法律トナツテ施行セラレル時ニハ、最近ノ實情ニ最モ適シタ歩合表ナルモノニ依ツテ施行シテ行キタイ、斯ウ存ジテ居リマス、實ハ減價償却歩合表ナルモノハ、稅務ノ内部ノ扱ノ基準トスルモノデアルト云フノデ、從來公表スルコトヲ見合セテ來タノデアリマスガ、議會等ニ於キマシテモ度々御要望モゴザイマシタノデ、昨年カラ是ハ發表致シマシテ、委員會ノ席上ニモ御配リシテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、近ク是ガ改正ヲ見ル場合ニハヤハリ全貌ヲ發表致シタイ、斯ウ存ジテ居リマス

○小山委員 其ノ改正ノ腹案ヲ今御示ニナル譯ニ行キマセヌカ、内規トシテ公表シテ居リマスケレドモ、一般ノ人ハ之ヲ能ク了解シナイデ、唯稅務官吏ノ裁量ニ依ツテ左右サレテ居ルノデ、非常ニ不安ヲ覺エテ居ル實情モアルヤウデアリマスガ、其ノ内規ノ大體ノ腹案ヲ此ノ委員會ノ終了前ニ御發表願ヘレバ、私共ソレニ對シテ考慮モ致シマスシ、又御尋致シタイ點ガアレバ、其ノ際御尋致シタイト存ジマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○大矢政府委員 出來ルナラバ左様取計ラヒタイト思ヒマスガ、中々ハ實際ノ場合トシテ難カシイ點ガ多イノデアリマス、ソレカラ今度考ヘテ居リマスノハ、昭和十二年以來毎年減價償却ノ歩合表ヲ或ル程度改正シテ參リマシテ、而モソレハ大體新規ノ設備費ニ付テノミ致シテ居ル、斯ウ云フ關係デアリマスガ、例ヘバ昭和十三年六月以降施行シタモノハ新設設備ニ限ル、斯ウ云フコトニシテ置キマシタガ、施行シテ見マスルト、ドウモソレガ適當デナイ、以前ノモノニ適用シナケレバ均衡ヲ得ナイト云フヤウナ點モアルノデアリマシテ、主トシテサウ云フ方面ニ、從來ノヲ或ル程度整理シテ、サウシテ相當古イモノマデモ廻ルト云フノガ一ツノ眼目デアリマス、ソレカラ時局産業關係以外ノモノニ付キマシテモ、例ヘバ建物等ニ付キマシテモ一般ノ長過ギルノデハナイカト云フヤウナ非難モアリマスノデ、是等ニ付キマシテモ相當檢討ヲ加ヘタイト思ツテ居リマス、出來ルダケハ是ガ作成ヲ急イデハ居リマスケレドモ、又餘リ急イダ結果不始末ナモノニ致シマシテモドウカト存ジマスカラシテ、或ハ御希

望通り本委員會ノ終了マデニハ完備シタ腹案ヲ提出シ致シ兼ネルカトモ存ジマスガ、出來ルダケ努メタイト思ツテ居リマス

○中村委員 減價償却ハ産業ノ發展ニ絶大ナル影響ノアルモノデアリマシテ、此ノ事變ニ貢獻スル産業ニ對シテハ、事變始ツテ以來トカ、或ハ昭和十四年度トカ、サウ云フ風ナ區別ガアルベキデハナカラウト思フノデス、ヤハリ古イ設備モ現在ノ産業ニ貢獻スルノデアリマシテ、ソレヲドウ變化サセルカ、ドウ進歩サセルカ、ドウ云フ風ニ保護シナケレバナラヌカト云フコトハ、是ハ産業上重大ナル問題ト思ヒマス、隨デサウ云フ減價償却ノ方針ハ、單ニ新シイモノダケニ適用スルト云フヤウナ考ヘデハ、全部ノ此ノ生産力擴充ニ貢獻スルコトハ少イト考ヘルノデアリマスカラ、ソレダケ過去ノモノト新シイモノトノ區別、待遇、其ノ間ニ不合理ナ點ガアリ、其ノ間ニ又單ニ認定ダケデ苦シメラレテ居ルト云フ點モアリ、單ニ納稅者カラ言フト、全ク前途暗澹トシテ摸索シナガラ進ンデ行カナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ狀態ニ置キマシテハ、洵ニ私ハ時局柄面白クナイコトデアルト存ジマスカラ、ソナニ整備シタモノデナクトモ宜シウゴザイマスカラ、相成ルベクハ此ノ委員會ノ終了マデニ、大體ノ腹案ヲ御示シアランコトヲ重ネテ御願致シマス

○中村委員 私人聽キマシタ趣意ハ臨時租稅措置ノ第四項「時局産業ノ用ニ供スル固定資産ニ對スル減價償却年限ノ短縮ヲ舊設備ニモ及ボス等固定資産減價償却是認範圍ノ擴張ニ付考究スルコト」トアル、デアリマスルカラ、是ハ今御提案ニナツテ居リマスル、例ヘバ臨時租稅措置法中改正法律案ナド

ニ取入レナケレバナラナイノデハナイカ、ソレノ方ガハツキリシテ居ルノデヤナイカ、稅務官吏ノ手心ヨリモ、一步進メラレル必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ云フ趣意ナノデアリマスガ、此ノ點モウ一ツ明白ニシテ置イテ戴キタイ

○大矢政府委員 實ハ昨年臨時租稅措置法ニ於キマシテ、特別ノ短期償却ノコトヲ認メマシタノハ、非常ナ私ハ大英斷ト、當時申シテ居リマシタガ、恐ラク世界ニモ其ノ例ガナイノデハナカラウト存ジテ居リマス、是ハ我國ガ現ニ直面シテ居リマスル生産力擴充ヲ必要トスル一番重大ナ國策ニ沿フ爲ノ、特別ノ措置デアアルノデアリマスガ、一面新規ノ設備ハ、相當高價ニ付ク、コストガ高マルモノデアルカラ、相當利益率ノ高イ中ニ、成ベク早く之ヲ償却シテ、會社ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フ必要ガ特ニ緊切ダト云フノデアリマシテ、將來新規ニ設備スル方面ニ、資金ヲ投ズル者ヲシテ、安心シテ投資シ得ルヤウナ途ヲ開カウト云フノガ、昨年ノ臨時租稅措置法デ減價償却ニ關スル規定ヲ置イタ眼目デアツタノデアリマス、其ノ當時ハソレデ十分ダト考ヘテ居リマシタガ今御話ノヤウナ點モアリマスノデ、施行ノ經過カラ考ヘテ見マスルト、相當期間過ツテ、舊イ設備ニモ之ヲ適用シタ方ガ宜イノデハナカラウト云フ感ジモ致シマス、其ノ他ニ於テモ色々考究スル點ガ多クアリマスルノデ、其ノ要綱ニ掲ゲタ次第デアリマスルガ、施行ノ方法トシテハ、特別ニ法律ニハ依ラズ、從來ノヤウナ内規デヤツテ行ツテ十分ダ、斯ウ考ヘテ居リマス、世界各國デモ大體法令ニ依ラズニヤツテ居ルノデハナカラウト思ヒマス、勿論一旦之ヲ定メタ

以上ハ、公表致シマシテ、關係者ヲ安心サシテ、之ニ基イテ償却ヲヤツテ行ケルト云フ途ハ講ジタイト存ジテ居リマス

○中村委員 方針ハ分リマシタ、ソコデ次ニ經濟論政策トノ調和ノ一ツトシテ物價政策ト云ツタヤウナモノモ、茲ニ關係シテ來ルダラウト思フ、又統制經濟ノ問題モ考慮ヲシテ居ラレルノダラウト思ヒマス、ソレデ先ヅ第一ニ現ハレテ來ルベキモノハ購買力ノ問題デアツテ、茲ニ物品稅ト云フモノガ一ツ項目トナツテ現ハレテ來ルト思ヒマス、私ハ現在ノ物品稅ト云フモノハ、北支事件特別稅ノ時ニ初メテ姿ヲ現ハシテ來タヤウニ思フノデアリマス、ソレ以來大分意味ガ變ツテ來テ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘル、例ヘバ今年ハ齒磨等ヲ加ヘラレタ、是ハ生活ノ第二義品ト云フコトハ出來マスマイ、保健衛生上ニ於テ吾々ノ生活ニ缺クベカラザルモノデアアル、最初ノ不用品急品、贅澤品ニ課稅スルト云フ考ガ段々變ツテ來タ、變ツテ來タト云フコトハ、物品稅ト云フモノガ或ル程度ニ停頓シテ來タト云フコトニモ私ハ解釋シ得ラレル、又物價問題等ノ關係上、物ヲ上ゲルト云ツタヤウナ不安ニ怯エ、萎縮シテ居ルヤウニ考ヘル、或ハ戰時ノ場合ニ於キマシテ經濟諸政策トノ調和ノコトヲ考ヘラレル以上ハ、此ノ物品稅ノ如キハ一ツ大擴張ノ方ニ向フベキモノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、物品稅ノ現在並ニ將來ノ見透シニ付テ、經濟諸政策トノ調和上如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、私ハ個々ノ品物ニ付テ申シマセヌ、大方針ヲ一ツ示サレタイ

○大矢政府委員 物品稅ニ付テノ大方針ト

云フコトデゴザイマスガ、大體今御話ノ通り、昭和十二年北支事件特別稅法ニ於テ物品稅ヲ起シタ場合ニ於キマシテハ、奢侈的消費ニ向ケラレル物品ニ課稅シヨウト云フ趣旨デアリマシテ、小賣ニ屬スルモノハ貴石、半貴石、金屬ノヤウナ物ヲ課稅ノ對象ニシマシタ、製造課稅ノモノモ、樂器ノ如キ物ニ對シテ課稅致シテ居ツタ、斯ウ云フヤウナコトデアリマス、所ガ事變モ段々擴大ヲ見マシテ、相當國庫ノ增收モ圖ラナケレバナラスト云フ風ニナリマシタノデ、此ノ課稅品目ヲ擴張シテ參ツタノデアリマスケレドモ、ヤハリ趣旨ハ當初ト變リナク、奢侈的消費ニ向ケラレル物及ビ其ノ物品ノ消費ガ比較的負擔力アル方向ニ向イテ課稅セラレルト云フ物ニ對シテ課稅シヨウト云フ、此ノ趣旨ニハ變リガナイノデアリマス、直接稅方面ニ於テ、課稅最低限ヲ漸次引下ゲテ參リ、間接稅方面ニ於テモ酒類ハ勿論、砂糖ノ如キ日用品ニ對シモ、或程度増徴シナケレバナラスト、斯ウ云フ際デアリマスカラ此ノ物品稅ノ課稅範圍モ相當擴張シテ居ルノハ、自然ノ趨勢デアリマスカラ、併シヤハリ生活上第二義的ナ物ニ對シテノミ課稅スルニ止メヤウト云フ趣旨ニハ變リアリマセヌ、殊ニ仰セノ如ク、物價問題ノ非常ニ重要ナ此ノ際デアリマスカラ、苟クモ物品稅ノ課稅ニ付テ、此ノ物價政策ト相反スルヤウナコトガアツテハナラナイと思ヒマシテ、慎重ニ注意シタノデアリマス、敢テ怯エタト云フ譯デアリマセヌ、慎重ノ留意アツテ然ルベシト思ツテ、斯ク致シタ次第デアリマス、獨逸、佛蘭西等ニ於テ施行セラレテ居リマスル賣上稅ノヤウナ風ニハ行キ兼ネルカト思フノデアリマス、一旦

此ノ賣上稅ヲ實施スルト收入ガ非常ニ多クナルモノデアリマスカラ、財政當局トシテハ其ノ誘惑ニ陥リ勝チデアリマシテ、一旦施行シタ以上ハ之ヲ撤廢スルコトガ中々ムツカシイモノダト存ジマス、日本ノ現下ノ財政狀況カラ見マスト、出來ルダケ增收ヲ圖ラナケレバナナリマセヌカラ、賣上稅ノ如キモ屢問題ニナルノデアリマスケレドモ、ソレハ大體取引品ニ課稅スルト云フ立前ヲ執リマスト、最終ノ消費マデニ其ノ負擔ガ可ナリ重クナツテ來ル、而モ其ノ課稅ノ對象ノ物品ヲ多ク賣出シマスト、結局物價騰貴ヲ誘致スルトカ、或ハ又輸出貿易ヲ阻害スル等色々ノ弊害ヲ起スノデアリマシテ、國庫ノ增收ヲ得ル一面ノ利益ガアリマスケレドモ、寧ロ之ヲ相殺シテ尙ホ剩リアル弊害ノ方ガアルト考ヘラレマシテ、將來ニ於テモ此ノ賣上稅ヲ起スト云フコトニ付テハ、餘程慎重ニ考究シタ上デナケレバ實行シニクイモノカト存ジテ居リマス

○中村委員 所謂賣上稅ト云フモノハ今主稅局長ノ言ハレタヤウナ弊害ハ吾々モ認メ、唯此ノ物品稅ト云フモノハ最初ハ贅澤賣上稅ダツタト云ツテ宜イノデス、ソレガ段々變遷シテ來タノデアリマシテ、增收ヲ得ル目的ヲ達スル爲ニハ或程度私ハ一回轉シテ賣上稅マデ進マレテ宜イト思フ、私ノ意識シタト云フノハ其處ナンデス、相當收入ハ得タイガ、色々非難ヲ受ケルカラ、此ノ程度ニ止マツテ居ルノデハナイカト思フ、此ノ物品稅ト云フモノハ或程度マデ飽和點ニ達シテ居ルト思フ、ソレヲモウ少シ突破ツテ增收ノ目的ヲ達スレバ或程度マデ一回轉賣上稅ニマデ擴大シテ行クト云フコトガ今日ノ經濟政策上已ムヲ得ナイ

結果ニナルノデハナイカト此ノ點ヲ私ハ聽イテ居ルノデアリマスガ如何デアリマスカ

○大矢政府委員 御意見御尤ナ點モアルト存ジマス、唯是ハ中々煩瑣ナ手數モ掛カル稅デゴザイマスルシ、ソレカラ課稅範圍ヲ擴張致シマスト、今ノヤウナ高イ稅率デハイカヌト思ヒマス、ヤハリ百分ノ五トカ三トカト云フ風ニシナケレバナラストモモ出テ來ルカト存ジマス、サウ云フ風ニシテ廣イ範圍ニ互ツテ、モウ少シ考究ノ餘地ガアルノデハナカラウカト云フ御説ニハ同感ノ節ガ多アルノデアリマスケレドモ、是ハ兎ニ角日本ノ今ノ現實ニ直面シテ居ル物價問題其ノモノトノ關係モ十分考慮シナケレバナリマセヌノデ、國庫ノ增收ヲ圖ルニ急ナル餘リニ、輕率ニ之ヲ擴メルノモドウカト思ヒマシテ、其ノ程度ニ致シタ次第デアリマス

○中村委員 慎重ナル態度ヲ執ラレルト云フコトハ私ハ諒ト致シマスガ、私ハモウ少シ戰時ノ財政ヲ賄フ爲ノ稅制改正ガ一面ニ重大ナ意味ニナツテ居ルノデアリマスカラ、一步前進セラレナケレバナラスト思ヒマス、次ニ今喧シイ公定價格制度トカ云フコトガ物價問題ノ中心ニナツテ居リマスカラ、公定價格ノアルモノト、非公定價格ノモノニ對シテ、今回ノ稅制改革ニ於テ何カ御考ヘニナツタコトガアルカドウカ承リタイ

○大矢政府委員 此ノ問題ハ實ハ物價委員會等ニ於テモ屢問題ニセラレタノデアリマスケレドモ、中々實行困難デアリマス、物價委員會等ニ於キマシテハ、生産力擴充ニ必要ナル方面ノ物資或ハ國民生活必需品其ノモノニ付テハ公定價格ヲ決メル、ソレ以外ノモノハ自然ニ放置シテ置イテ、品

物毎ニ適當ナ公定價格ニ準ズルヤウナ價格ガ一ツアルベキ譯デアルカラ、其ノ價格ト實際ノ賣上額トノ差額ヲ物品稅ノヤウナ形デ取ツテ行ツタドウカ、毎月ノ各商人ノ賣上ニ付テ、物品毎ニ其ノ價格ノ差ヲ見テ差額ダケ徵收シテ行ツタドウカ、斯ウ云フ案ガアツタノデアリマスガソレヲ實行シ得ルナラバ、コンナ手輕クシテ增收ヲ上ゲ得ルモノハ他ニナイノデアリマスカラ、ソレハ實行シタイガ、併シ其ノ公定價格ヲ決メナイ物品ノ平準價格ト言ヒマスカ適正價格ト言ヒマスガ、ソレヲドウシテ見ルノデアルカ、物價委員會或ハ商工省方面ニ於テソレガ公定價格ヲ決メナケレバナラスト品物ト、同ジヤウニ其ノ價格ヲ決メ得ルト云フコトニナレバ宜シイケレドモ、ソレガ出來ナイト云フコトニナレバ、稅務官廳ハ如何様ニシテ之ヲ認定シテ行ツカ、ソコニ非常ニ稅務官廳ノ獨斷ガ入ツテ來ル、サウナレバソコニ恐ルベキ結果ヲ來スノデハナカラウカ、隨テ少クトモ現在ノ經濟界ノ實情、現在ノ稅務官廳ノ機構其ノモノヲ以テ、直チニ斯ウ云フ制度ハ施行シテ行ク譯ニハ行カナイ、將來ノ一ツノ大キナ問題トシテ攷究シナケレバナラストケレドモ、今直チニ之ヲ施行シテ行ク譯ニハ參ラス、然ラバ公定價格ヲ決メナイ結果ト致シマシテ、サウ云フ品物ヲ扱フ商人ノ莫大ナ利益ヲ擧ゲル者ニ對シテハ、ドウ云フ風ナコトニナルカト云ヒマス、是ハ一年經ツタ後、臨時利得稅トカ所得稅ト云フ方面デ相當多額ノ負擔ヲサセルト云フコトニナリマスカラ、或程度稅此ノ調整ハ取レテ行ケル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○中村委員 ドウモ經濟諸政策トノ調和ヲ

圖ルコト云フ目標ヲ御示シニナツテ、甚ダ或ル點ニ於テ不徹底ノ感ガアルノデヤナイカト私ハ思ヒマス、次ニ三四ノ目標ニ關シテ具體的ニ御尋フ致シタイノデアリマスルガ、増收ヲ圖ルト共ニ新稅ガ全クナイヤウデアリマス、尤モ物品稅其ノ他ノモノハ、是ハ日支事變ノ特別ノ新稅デアリマスガ、今日カラ見レバ新稅デナイ、少クトモ今回ノ稅制改正ニ於テ何カ外ニ増收ヲ圖ル意味ニ於テ新稅ガ考ヘラレルモノデハナイカト私ハ思ツテ居ツタノデアリマスガ、何モ御示シニナツテ居ラヌヤウデアリマスガ、如何ナル理由デアルカ、或ハ之ヲ此ノ次ノ時ニ讓ルト云フ意味デアリマスカ、此ノ點答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○大矢政府委員 此ノ度ノ稅制改正ニ於テドウモ新稅ガナイヤウダツ云フ御尋デゴザイマスガ、洵ニ其ノ通りデアリマス、實ハ昨年ノ稅法ノ委員會ニ於キマシテモ、色々問題ニナツタ點デアリマシテ、私共十分攷究ヲシテ見タノデアリマスガ、何シロ昭和十二年ノ増稅以來毎年々々増稅ヲ重ネテ來マシテ、課稅範圍モ相當擴張シテ、新稅モ可ナリ澤山興シテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ今日ト致シマシテハ目星シイモノデ取り殘サレテ居ルモノハ餘リ見當ラナイト申上ゲルヨリ外ナイト存ジマス、尙ホ今後モ十分此ノ點ハ攷究致シマシテ、徒ニ從來ノ租稅ニ泥ンデ其ノ方面ノ負擔ノミヲ多クシテ、新シイ方面ノ負擔ヲ閑却スルト云フコトノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○中村委員 私ハアルト思ヒマス、併シ是ハ討論ニナリマスカラ申上ゲマセスガ、詰リ新シイモノデアルベキモノガアルノデス

ケレドモ、分類所得稅ト綜合所得稅ヲ併用セラレタ結果、新稅ヲ起スノニ自縊自縛ニ陷ツタノデハナイカト私ハ考ヘマス、ソコデ然ラバ此ノ稅制改正ト云フモノハ何ト云ツテモ戰爭中ニ行ハレルノデアリマスカラ、何カ戰時ノ場合ニ於ケル需要ニ應ズル爲ニ、乃至ハ戰時ニ於ケル經濟界ノ激變ガアル、例ヘバ不動産ノ値ガ上ツテ居ル、更ニ換物思想ト云フモノガ旺盛ニナツテ物ノ値ガ上ツテ居ル、即チサウ云フ物ヲ持ツテ居ル人ハ自然ニ居ナガラニシテ價格ガ上ツツノデ收入ハ殖エテ居ル、斯ウ云フモノニ對シテ此ノ稅制ヲ通ジテ何カ捉ヘル方法ヲ、此ノ戰時事變ノ際ノ稅制改正ニ際シテ御執リニナラナカタツツノデアルカ、示サレタイノデアリマス

○大矢政府委員 此ノ事變ニ依ツテ物ノ値上リスル、或ハ收入ノ非常ニ増加スルト云フ方面ニ對スル課稅ハドウカト云フ風ニ伺ハレマシタガ、事變下ニナツテ特ニ莫大ナル利益ヲ擧ゲテ居ルモノハ、ヤハリ臨時所得稅ノ課稅ヲ受ケテ居ル方面ダラウト存ジマス、隨テサウ云フ方面ハ略、目的ヲ達シテ居ル、唯今御示シノ中ニアリマシタ所ノ土地ノ値上リト云フヤウナ、財産ノ評價益ガアルヤウナ方面ニ對シテノ課稅ハ何等考ヘテ居ナイノデハナイカ、或ハ之ヲ轉賣シテ現ニ利益ヲ得タ者ニ對スル課稅ハ拔ケテ居ルデハナイカト云フ風ニ伺ヒマシタ、其ノ點御尤ト存ジマスガ、併シ是ハ世界大戰當時獨逸ニ於テ施行シタ實績ヲ見テモ、餘リ芳シクナカツタノデアリマス、又昨年ノ九月第二次ノ歐洲大戰ガ勃發シテ、御承知ノ通り英國デハ相當思切ツタ増稅ヲ致シテ居リマスガ、英國ニ於キマシテモ、此ノ財産増價稅ノヤウナ

モノヲ十分考慮スル必要ガアルノデハナイカト云フコトガ議論セラレタヤウデアリマスケレドモ、結局是ハ此ノ事變下ノヤウニ非常ニ經濟界ノ激變スル時ニ準備モナクシテ施行シテモ決シテ良イ結果ヲ擧ゲ兼ねルモノデアアル、而モ多額ノ收入ヲ之ニ期待シ得ナイモノデアアルカラシテ、モウ少シ事情ノ推移ヲ見ヨウト云フコトニナツタヤウデアリマス、我國ニ於キマシテモ、財産増價稅ノ如キモノヲ施行シヨウトスレバ、何時カノ現在ヲ捉ヘテ財産ノ徹底ノ評價ト云フノガ一ツナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ一定ノ時期ヲ劃シテ其ノ元ノ價格トノ差額ヲ見ル、斯ウ云フコトガナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、是ガ中々手數ノ掛ル仕事デアリマシテ、人的資源ノ非常ニ不足ヲ告ゲテ居ル今日ト致シマシテ、事實上ヤルノニ非常ニ困難ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○中村委員 昨日櫻井委員ヨリ基本法、ソレカラ臨時増徴法、支那事變特別稅法、是ノ整理ニ關シテ御質問ガアツタノデアリマスガ、稅制改正目標ノ最後ノ原則、第四ノ原則ニ關聯シテ一應確メテ置キタイノデアリマスガ、今回ノ稅制ノ簡易化ト云フモノハ此ノ三階建ヲ全部一階ニセラレタト云フノデアリマスガ、即チ三階建デアツタノヲ平家ニシテシマツタ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマス

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○中村委員 平家ニシテサウシテ其ノ結果稅制ノ簡易化ヲ圖ル、斯ウ云フノガ意圖セラレタ所デアルト存ジマスガ、私ハ基本法ト臨時増徴法ヲ一緒ニシテ、支那事變特別稅法ト云フモノハ其ノ儘置イテ、支那事變

ガ終了シタ後ノ戰後ノ經營ノ場合、第二次稅制改革ハドウシテモ必要ニ迫ラレル、其ノ場合ニ考慮セラルベキデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點當局ハ如何ニ御考ニナツタノデアリマスカ

○大矢政府委員 支那事變ガ所謂長期建設ノ段階ニ入ツタ、近キ將來ニ於テ財政需要モ現在ト著シイ變化ガナカラウ、大體斯ウ云フ見透シノ下ニ立チマス、ヤハリ稅制ノ簡易化ヲ期スル上カラ致シマシテ、是ハ二階建三階建ハヤメテ、一階ニシタ方ガ宜カラウ、斯ウ考ヘタ次第デアリマス、支那事變ガ本年中或ハ明年中ニモ終熄シ、サウシテ今後ノ財政需要モ事變終熄ト共ニ著シク減ル、斯ウ云フヤウナ狀況ニアリマスレバ御說ノヤウニ致スベキダツ存ジマスケレドモ、近キ將來ニサウ云フ事態ニナルト云フコトガ豫想致サレマセス、隨テ此ノ長期建設ノ段階ニ對應スル稅制ト致シマシテ、其ノ簡易化ヲ期スル意味ニ於キマシテ、一本建ノ方ガ然ルベシト考ヘタ次第デアリマス

○中村委員 私ハ餘リ簡易化ニ囚ハレ過ギテ居ル傾向ガアルノデハナイカト思フノデアリマス

次ニ今此ノ稅制改革案ニ關聯シテ世間ノ問題ニナリ、何人ト雖モ一應政府ノ意向竝ニ方針ヲ聽カナケレバナラナイ問題ハ、所謂第二種綜合課稅ノ問題デアルト思フノデアリマス、私ハ金融資本デアルトカ、産業資本デアルトカ、サウ云フ立場カラ論ジマセス、綜合課稅主義ヲ是非トモ徹底サス上ニ於キマシテハ、事務當局ガ最初立案セラレタモノガ其ノ趣旨ニ副ウテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ中間の方法ヲ御採リニナツタ

方ガ理論上私ハ一步後退セラレタ曖昧ナル不徹底ナモノニナツテ、折角分類所得税、綜合所得税ト云フモノヲ併用スルト云フ大方針ガ歪メラレテ居ルノデハナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

○大矢政府委員 税制ノ理論カラ見マスレバ全ク仰セノ通りデゴザイマス

○中村委員 税制ノ理論カラ見テ私ノ考ニ主税局長ハ御同意ニナリマシタ、ソコデ私ハ此ノ問題ヲ思ヒマス、理論ノ問題カ實際ノ問題カト云フ所ニ結著スルノダト思フ、ソコデ主税局長ハ理論ニ透徹シタイト云フ心ガアルト思フ、主税局長バカリデナク、主税局長ノ諸君ハ理論ニ透徹シタイ、然ルニ實際ノ問題ニ於テハソコマデ行カナカツタト云フ其ノ苦衷ヲ私ハ諒スル、併シ此ノ案ニ示サレタル所謂選課税法ノ採用ニ依ツテ、一ツ公社債、銀行預金利息等ニ關スル綜合課税額ノ計算ノ例ヲ私ハ示シテ貰ヒタイ、サウスルコトニ依ツテ吾々モ判斷シ得ラレルト思フノデスガ、今仰シヤツテモ宜イノデスガ、或ハ文章ヲ以テシテ貰ツテモ宜イノデスガ、兎ニ角一應此ノ計算例ヲ示シテ貰ヒタイ、ソレニ依ツテ吾々ハ判斷シタイト思フノデス

○大矢政府委員 只今御要求ニナリマシタ點ハアトデ資料トシテ提出致シマス、尙ホ先程私ガ御答シタノヲ一言補足シテ置キマスガ、税制調査會等ニ於キマシテモ、所謂第二種所得ヲ綜合課税スルト云フ税制ノ理論カラハ何人モ異論ガナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、私ガ先程申上ゲタ税制ノ理論カラハ全ク其ノ通りダト云フノモサウ云フ趣旨デゴザイマス、一面ニ於キマシテ今

同ノ税制改正ハ經濟諸政策トノ調和ヲ圖ル、斯ウ云フ點モ目標ニナツテ居リマス、現下ノ財政、金融上ノコトヲ考慮致シマシテ、其ノ點ノ調和ヲ圖ル爲ニ税制ノ理論ガ暫定的ニ多少歪メラレルモ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村委員、サウ言ハレルト外ノ方面ニ於テ國債ノ利子ナドハ優遇サレテ居ルデハアリマセスカ、ソレヲ私ハ經濟政策ニ調和シテ居ルノダト思フノデスガ、何レ表ヲ拜見シテ私ハ質問スルカセスカ、又外ノ同僚ガシマセウガ、兎ニ角今申シマシタ計算例ヲ出シテ貰ヒタイ

其ノ次ニ分類所得税ノ制度デアリマスガ、是ハ恐ラク長所バカリデアルトハ主税局長ハ御考ニナラナイデアリマセウ、相當ノ短所モ備ヘテ居ラウト思フノデアリマス、例ヘバ比較的小所得者ニ重クナルト云フコトハドウモ私ハ免レルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テ分類所得税ノ長所、短所、多少ノ短所ハアラウガ、長所ヲ採リ、其ノ短所ヲ外ノ方面ニ於テ調整ラシタト云フデアリマスガ、此ノ點ニ付テ分類所得税ヲ採用セラレマシタ主税局長當局ノ意圖ヲ明ニセラレタイ

○大矢政府委員 今分類所得税ノ長所モアルガ短所モアルノデナカラウカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ獨リ分類所得税バカリデナク、昨日申上ゲマシタ通り、大體直接税ノ體系ト致シマスト三ツバカリ考ヘラレル、ソレガ各、ヤハリ長所ガアルノデアリマス、又長所ガアル半面ニ短所ガアルノデアリマシテ、何人モ異論ノナイ如何ナル場合ニモ最モ優良ナ制度ト云フノハ、此ノ三ツノ中ニハナイト考ヘテ居リマス、又今

同採用セントスル分類所得税ニ於キマシテモ、勿論長所ガアリマスガ、又或ル程度ノ短所ハアラウト思ヒマス、併シ是等ヲ他ノ制度ト比較致シマシテ、色々ノ觀點カラ考察ラシテ、此ノ際及ビ將來ニ於キマシテハ、ドウシテモ今回ノヤウナ制度ニ依ラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ確信致シテ案ヲ拵ヘタ次第デアリマス

○中村委員 私人分類所得税ノ問題ニ付テ、短所、長所ト云フコトヲ強調シテ見タノデス、アナタノ御答辯ハドウデアルカラ見タノデアリマシテ、元來物事ニ長所、短所ガアルコトハ申スマデモアリマセス、ソコデ分類所得税ノ短所ガ比較的小所得者ニ重ク課ルコトガアルト云フコトハ事實デアルトスレバ、ソレヲ救済スル、調整スル方法ヲドウ云フ風ニ執ラレルカ、此ノ點ヲ明白ニセラレタイ

○大矢政府委員 分類所得税ハ比例税ノ爲ニ比較的小額所得ニキツク行クト云フノハ、若モ比例税ヲ無條件ニ採用スレバ全ク仰セノ通りデアリマス、併シ其ノ點ハ十分考慮致シマシテ、從來ノ第三種所得税ニ於テハ免稅點デアリマシタノヲ基礎控除ニ致シタノガ一點デアリマス、ソレカラ扶養家族ノ控除ニ付キマシテ餘程擴張致シマシタ、新シク妻ヲ加ヘマシタ、又一人當リノ控除金額ノ程度モ擴張メタノデアリマシテ、勤勞所得階級ニ付テ見マス、從來扶養家族一人ニ付百圓ヲ引カレテ居ツタモノガ、今度ハ倍、二百圓引カレル、斯ウ云フヤウナコトニナリマシタ、隨テ斯ウ云フ方面ニ於キマシテ十分小額所得者ノ負擔ノ過重ニナラナイヤウナ考慮ハ拂ハレテ居ル次第デアリマス

○中村委員 其ノ考慮セラレタコトハ私ハ認メマス、吾々トシテハ分類所得税ノ短所ヲ調整セラレルニ於テ、今ノ御話ノモノヲモウ少シ前進セラレテモ宜イデヤナイカト思フ、國民稅ヲ普遍化スルト云フ趣旨ハ私ハ現時ノ時局ニ於テ然ルベキモノデアルト信ジマス、併シナガラ戰時物價ノ暴騰其ノ他ヲ考ヘマシテ、此ノ點ハ吾々ト致シマシテハ餘程慎重ニ考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、一言ニ申上ゲマスルナラバ、分類所得税ノ短所ヲ調整セラレル程度ガ緩イノデハナイカト思フノデス、是ハ私ノ意見デアリマシテ、之ヲ茲ニ申シテ置ク次第デゴザイマス

次ニ多少技術的ニ互ルノデアリマスガ、所得税ノ超過累進稅率ニ依ル課税ノ階級區分等ヲ見テミマス、相當急勾配デアアルノデハナイカト思フノデス、又八十萬圓超ヲ以テ打切ラレタコト云フコトハ、是ハ一ツノ理窟ガアルト思ヒマスガ、日本ニハ大金持ガナイト云フ點ガサウ云フ所ニアルデセウガ、少クトモ最近戰時ニ於テ相當資産ヲ殖ヤシテ居ル者モアルノデアリマシテ、一概ニ八十萬圓止メルノハ如何カト思フノデスガ、此ノ點ニ付テ主税局長ノ御答辯ヲ煩ハシタイ

○大矢政府委員 從來第三種所得税ニ於テ、超過累進稅率ヲ盛ツテ居リマシタ、最高四百萬圓マデニナツテ居リマス、是ハ全體ニ此ノ超過累進稅率ノマダキツクナイ時分ニハ其ノ程度宜カラウト思ヒマス、最近數次ノ増稅ニ依リマシテ隨分高クナツテ來マシテ、最高ノ方ヲ其ノ儘從來ノヤウナ割合デ進メテ行クト、殆ド全額ニ近イ課税ヲ受ケルト云フヤウナ弊ガ出テ來マシタノ

後一時カラ開會致スコトニ致シマシテ、今日ハ是ニテ散會致スコトニ致シマス
午後零時散會

デ、支那事變特別稅法ノ制定ニ當リマシテ、最高ヲ制限スル規定ヲ特ニ挿入シタ譯デアリマシテ、其ノ結果ト致シマシテ、現行ニ於テハ大體二百万圓程度ノ所得者ハ、此ノ最高制限適用ヲ受ケル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、隨テソレ以上全體ノ率ヲ殖ヤシテ見テモ、上ノ方ハ負擔ガ殖エナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此ノ度全體トシテヤハリ所得稅ノ納稅者ノ負擔ガ殖エマヌノデ、高額所得者モ概ネ其ノ負擔ガ殖エテ來ルト云フコトニナツテ居リマスガ、ヤハリ最高ハ殆ド行キ盡シテ居ル感ガアリマヌノデ、將來ノ彈力性其ノモノモ考慮致シマスレバ、或ル程度此ノ超過累進稅率ノ最高ノ限界ヲ低メル必要ガアル、斯ウ考ヘタノデアリマス、英國等ノ例ヲ見テモ可ナリ低イ所ニ最高ノ率ガ盛ラレテ居ルノデアリマス、結局國庫ノ增收ヲ相當圖ラナケレバナラス、而モ大所得者ノ負擔ハ殆ド限界ニ近イ位ニナツテ居ルト云フノガ日本ノ現狀デアリマシテ、隨テ前ニ御質問ノアリマシタ少額所得者ノ負擔モ割合ニ多クナルノデハナカラウカ、斯ウ云フコトデアリマスケレドモ、國庫ノ增收ヲ圖ルト云フコトガ現實ニ必要ナル此ノ際トシテハ、ヤハリ斯ウ云フ行キ方ヲセザルヲ得ナイ、斯ウ存ジテ居リマス

○中村委員 此ノ稅制改正ノ要綱ノ、十月十日ノ印刷サレタモノト、十二月九日ニ印刷サレタモノヲ見マス、法人ノ課稅ガ百分ノ二〇ガハニナツテ居ル、是ハドウ云フ意味デナサレタノデアルカ御説明ヲ願ヒタイ

○大矢政府委員 是ハ稅制調查會ニ主務局試案ト致シマシテ、法人稅ノ所得ニ對スル稅率ハ百分ノ二十トシテ居タノデアリマス、一方ニ於テ昨日モ大分問題ニナリマシタヤウニ、所得稅、臨時利得稅ヲ從來會社ノ損ニ見テ居タガ、此ノ度ハ損ニ見ナイト云フ計算方法ノ改正モアルノデアリマスガ、稅制調查會ニ於キマシテ此ノ兩者ガ相關聯シテ大分論議サレタノデアリマス、ソレデ計算方法ヲ變更スルノハ考慮ヲ要スルト云フ意見モ相當アリマシテ、一方ニ於テ計算方法ノ變更ハ已ムヲ得ナイトシテモ、法人ノ負擔ハ是デハ餘リ急激ニ増加スルノデハナカラウカト云フ意見モアツタノデアリマス、隨ヒマシテ私共其ノ後各種ノ方面カラ檢討ヲ加ヘマシタガ、ヤハリ法人ノ負擔ガ幾分急激シテ増加スル嫌ヒガアリマシタノデ、約一割方輕減スルコトニ致シマシテ、百分ノ十八ト致シタ次第デゴザイマス

○中村委員 現行法ニ依ツテ、臨時増徴其ノ他ヲ合シテ、ソレニ附加稅ノ率ヲ掛ケテ、大體幾ラ位ニナルノデアリマスカ

○大矢政府委員 大體全國ノ平均ハ百分ノ二三・四五トナツテ居リマス

○中村委員 其ノ結果ドレダケ減收ニナルノデアリマスカ

○大矢政府委員 法人稅ノ所得ニ對スル稅率ヲ百分ノ一八ト致シマシタガ、此ノ外ニ地方全體ノ財源トナル營業稅ガゴザイマス、是ハ百分ノ六ノ稅率デゴザイマス、結局此ノ度ノ改正案ニ依リマスルト、法人ノ所得純益ニ對スル課稅ノ率ハ法人稅ノ營業稅ト合計致シマシテ、百分ノ二四トナリマス、從來ノ百分ノ二三・四五、斯ウ云フ譯デアリマシテ、率ニ於テハ殆ド變リガナイト申上ゲテ宜シイノデアリマスケレドモ、稅引ヲ稅込ニ致シ計算方法ヲ變更ニ依ツテ、相當程

度法人ノ負擔ガ殖エルノデアリマス、昨日モ申上ゲマシタ通り、法人ノ負擔ハ法人稅ト臨時利得稅及ビ營業稅ヲ通算致シマシテ、從來ノ負擔ニ比ベテ大體一割五分程度ノ増ニナル、斯ウ云フ次第デゴザイマス

○中村委員 原案ノ百分ノ二〇ヲ百分ノ一八ニセラレタ結果ドレダケ國庫ノ減收ニナルノカト云フコトヲ參考ノ爲ニ聽イデ居ルノデス

○大矢政府委員 大體五千万圓程度デゴザイマス

○中村委員 私ハ法人ニ對シテ苛斂誅求セヨトハ申シマセヌ、併シ第三ノ、收入ノ増加ヲ圖ルト云フコトカラ考ヘマスルナラバ、五千万圓ノ減收ト云フモノハ相當問題ダラウト思フ、併シ是ハ原案デアリマスカラ、深ク追究ハ致シマセヌ、要スルニ私ハ今回ノ稅制改正ハ色々議論モアル、併シナガラ戰時ノ際長期建設並ニ戰時ノ大切ナル費用ヲ賄フ爲ノ手段デアルトスルナラバ、或ル程度思ヒ切ツテヤルベキモノデアツタノデハナイカト思フ、此ノ點ニ於テ私ハ或ハ見方ニ依ルカモ知レマセヌガ、或點ニ於テ後退的デハナイカト思フ、是ハ私ノ感想デアリマス

委員長、私ハ明白ニ申シテ置キマスガ、大都市財政カラ見タル地方稅法案並ニ地方分與稅法案ニ付テ、簡單ニ御尋シタイコトガアルノデアリマスガ、是ハマダ此ノ委員會ニ付託セラレテ居リマセヌカラ、櫻井氏同様私モ質問ヲ保留サシテ戴キマス、國稅ニ關スル分ハ、時間モアリマセヌカラ、之ヲ以テ終リマス

○堀切委員長 ソレデハ次會ハ月曜日ノ午